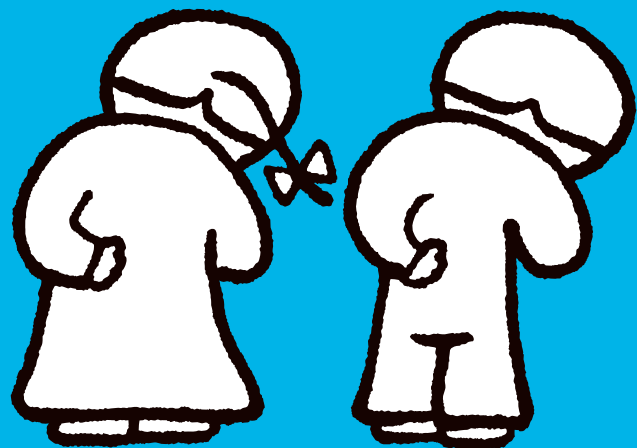
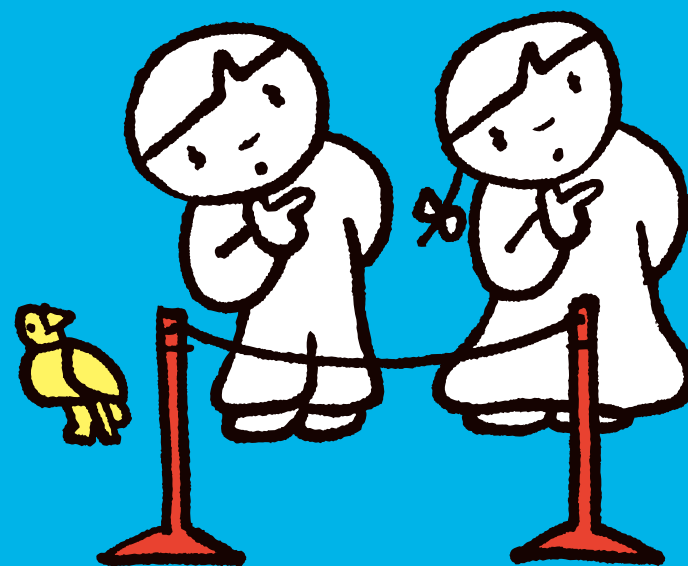


# ヒトってなんだろう？



# アートってなんだろう？



千葉県立美術館 アートってなんだろう？

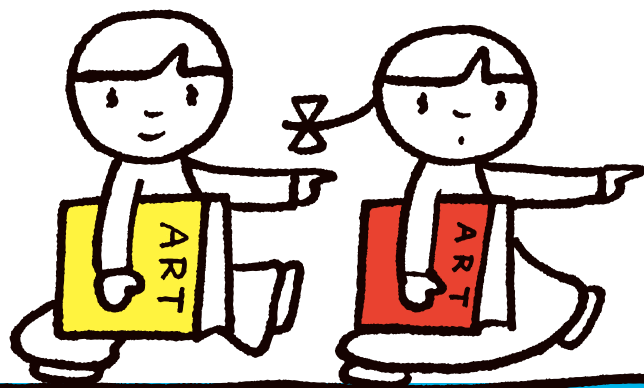
編集：横井勝、柴美春 イラスト：100%ORANGE デザイン：中北隆介 撮影：鈴木ヨシアキ（P.5下、P.9~13）  
印刷：半七写真工業株式会社  
発行：千葉県立美術館 〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1-10-1  
発行日：令和6年10月



千葉県立美術館

# アートってなんだろう？ ヒトってなんだろう？

千葉県立美術館



千葉県立美術館が生まれてから

今年の10月で50年がたった。

昔は海しかなかったけど、土地ができて

人が住んで、まちができて、美術館もできた。

大昔は地球には人間がいなかったけど

人間が生まれて、いっしょにアートも生まれた。

だから、アートって難しそうだけど

アートについて考えてみたら

人間についてもわかるかなあ？

人や社会がどんどん変わったら

アートもどんなふうになるんだろう？

アートってなんだろう？



# 千葉県立美術館のアートってなに？



アートってよくわからない？  
千葉県立美術館をめぐるって  
ちょっと一緒に考えてみよう



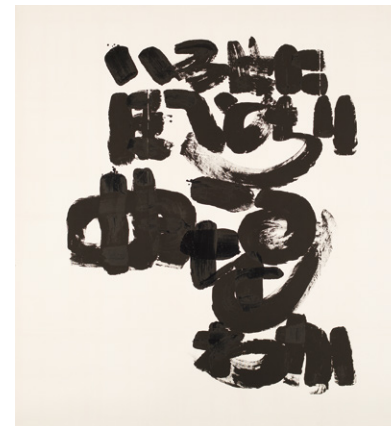
大きな頭につぶらな目、翼の模様はぐるぐるしてる？  
脚は変わっているかも…見れば見るほど不思議。  
これもアートなのかなあ。

**point** 首からパカッと開いて御香を入れると、香炉として使用できます。  
翼の模様は中国古代の文様を模しています。



どこかなつかしい景色。昔の人の作品かな。  
うしろに見えるのは海？この人たちは何をしているんだろう。

**point** 佐倉ゆかりの洋画家 浅井忠による、南房総の海辺で働く女性たちの姿。  
作者は、日本で初めて西洋画を学んだ人たちのひとりです。



模様？文字？それとも人の横顔？  
何が見えるかいろんな人に聞いてみよう！

**point** いろは歌の冒頭が大胆に表現されています。  
作者は、身の丈ほどの筆を抱えて  
たくさん的大作を残しました。

左上: 香取秀真《鳩香炉》1949年 右上: 浅井忠《漁婦》1897年  
右下: 千代倉桜舟《いろはうたの構築（4部連）》（部分）1984年



撮影：上野則宏

羊がたくさん、草を食べたり休んだり…だけどどこかに人がひっそり？

**point** フランス、バルビゾン派の画家・ミレーによる作品。羊飼いが画面右奥にたたずむ中、羊たちが穏やかな光で照らされています。



©Ayako Rokkaku

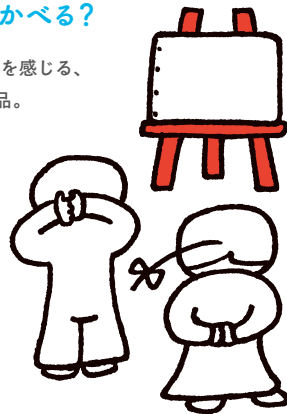
女の子がいる？このカラフルな世界、どうやって描いたんだろう。

**point** 絵具をつけた指先で勢いよく描かれています。



ところどころへこんだ巨大な像。  
この姿から何を思いうかべる？

**point** 固く重たい石にぬくもりを感じる、抽象的なフォルムの作品。



この世界は何色で  
描かれているんだろう？  
冷たそうだけど、心地よい空気…

**point** 市川市に居住した東山魁夷。初春の京都に取材し、幻想的な雪景色を描きました。



上:令和5年度「テオ・ヤンセン展」  
下:令和6年度「PROJECT UMINOUE 五十嵐靖晃 海風」

# ARCHITECTURE

## アートをつつむ 千葉県立美術館の建築

メタボリズム運動の建築家・大高正人による設計。

メタボリズムとは「新陳代謝」のこと。

時代や用途、使う人の変化に合わせて、建物の部分を増やしていく。

積み木で遊んでいるみたい？





そと

# 千葉県立美術館

# をまわってみよう

なか

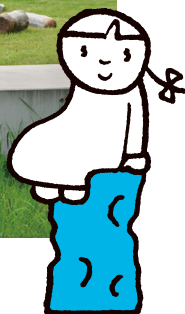
広い芝生の庭には屋外彫刻がたくさん。

散歩してみると、思わぬ作品との出会いがあなたを待っているよ。



美術館の裏手に広がるのは、“未知なる、道の、みちのにわ”。  
あなたのお気に入りの過ごし方をぜひ見つけてみてね。

point 1本の道が、美術館と地域を結びます。



## みつけてみよう



秘密の部屋があるよ  
見つけられるかな？



ひとのような形をしてる？  
なにを表しているんだろう。

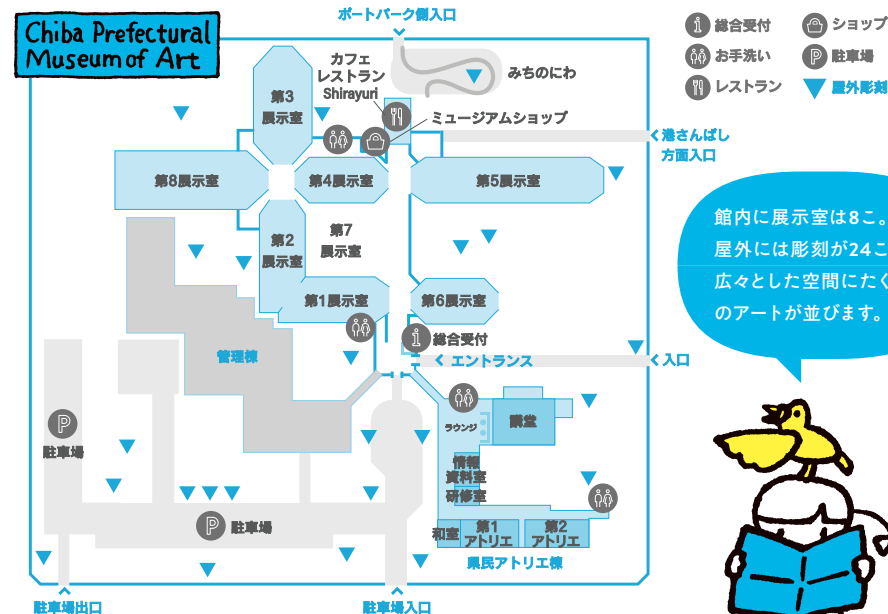


かわいい形の2つのいきもの。  
指をさしているのかな。

上・下中央:中岡慎太郎《FANTASY》1993年 左下:鈴木啓子《FEELING-LOVE 白いポエジー》1973年 右下:田中毅《草枕の旅》1993年

美術館のなかは魅力がいっぱい。

作品はもちろん、建物そのものに注目してまわってみても面白いよ。

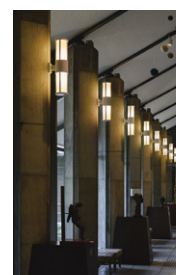


館内に展示室は8こ。  
屋外には彫刻が24こ。  
広々とした空間にたくさんの  
アートが並びます。

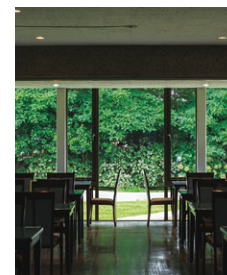


point 千葉県立美術館は平屋建て。段差がなく、  
誰もがアートを楽しむことができるバリアフリーな建物です。

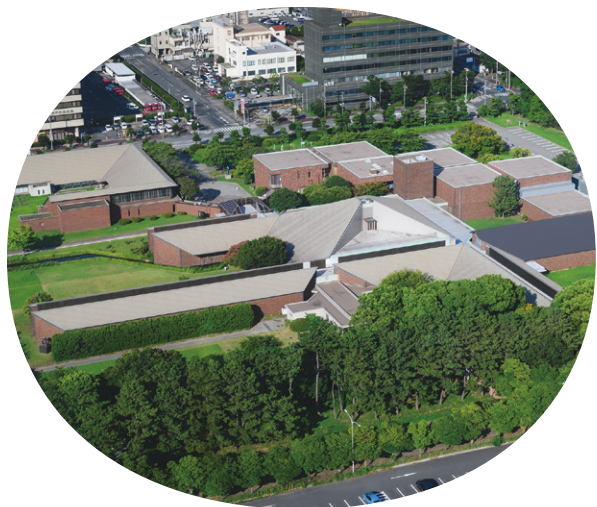
## さがしてみよう



ななめがいたるところに。  
つみきのなかにいるみたい。



建物のなかにはいろんな場所が。  
アートの本もたくさんあるよ。



千葉県立美術館は開館50周年を迎えるにあたり、

「アートを問う」という理念を掲げました。

この最終的な答えのない問いをみなさんとともに考え

わたしたちとは なにものなのかを探り続けます。

## 千葉県立美術館活性化基本構想について

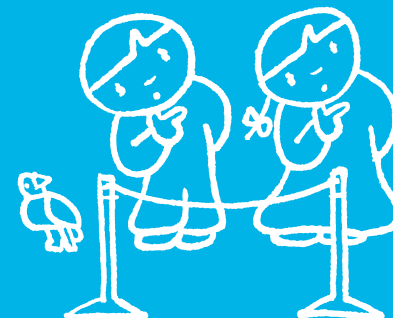
県立美術館が美術館を取り巻く様々な動向、社会経済状況の変化に適応しながら、県民に寄り添った魅力ある美術館として生まれ変わるため、今後の運営指針を策定しました。

(令和6年3月29日発表)

### 理念 アートを問う

私たちはアートとは何かを、  
ともに問い続けます

人間とともにアートが生まれました。アートとは何かを問うことは、人間とは何かを問うことと同じ。だから、人間活動や社会の変容とともにアートも変わります。変化と多様性の時代に、この最終的な答えのない問いを、みなさんと続けていきます



### 目指す姿 人々が行き交い対話する場となり、千葉から未来へ新たな文化をつむぎます

アートをめぐって人々が行き交う“美術館空間”に、最新のアートや研究成果を発信します。千葉ならではの特色を活かしたアートを育み、すべての人々とともに新たな世界観を創造し続けることを目指します

#### 活動方針Ⅰ

新たな出会いと  
発見の場に



大切に受けつられてきたアートと多様なアートを様々な手法で紹介することで、千葉発のアートシーンを創出し、新しい価値観の気づきの場になります

#### 活動方針Ⅱ

県内のアートプロジェクトの  
拠点として



豊かな自然環境と、首都圏にあり海と空の港を持ち、多様な人々が交差する本県の立地を活かし、県内のアートプロジェクトの拠点として、千葉文化を豊かにするとともに、社会の活力向上に寄与します

#### 活動方針Ⅲ

次世代の感性を  
育成する場として



アートに触れる楽しさを伝えて、子どもたちの感性を育むとともに、県内外の次世代アーティストが千葉に集まり交流・活動ができるよう支援することで、未来のクリエイティブな人材を千葉から育みます

#### 活動方針Ⅳ

サステナブルな  
美術館に



アートの視点から向き合いながら、あらゆる人々の拠りどころになるとともに、日々変化し多様化する社会において、未来につながる持続可能な美術館を目指し、ウェルビーイングに寄与します